

記載例 《浄化槽》

様式第1（第3条関係）（表面）

届出日は、工事着手の60日前までに！！

特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ 設置 ~~（使用、変更）~~ 届出書

平成24年 4月 1日

岐阜市長 殿

住所 岐阜市今沢町18番地
届出者 氏名 (株)岐阜
代表取締役 岐阜 太郎

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		(株)岐阜 今沢店	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		岐阜市今沢町18番地	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	72 し尿処理施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	<u>別紙1のとおり。</u>	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	<u>別紙2のとおり。</u>		
	△汚水等の処理の方法	<u>別紙3のとおり。</u>		
	△排出水の汚染状態及び量	<u>別紙4のとおり。</u>		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	<u>別紙5のとおり。</u>		
△排出水に係る用水及び排水の系統	<u>別紙6のとおり。</u>			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ点を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

記載例 《浄化槽》

別紙 1

特定施設の構造

一つの特定施設に対して一つの番号を付し、構造図を添付する。全く同じ施設を2基以上所有している場合は、備考欄などに基数をしるし、一つの番号で処理してもよい。一度使用した番号は、二回以上使用してはならない。

工場又は事業場における施設番号	1	
特定施設号番号及び名称	72 し尿処理施設	
型 式	合併処理施設	
構 造	鉄筋コンクリート造	
主 要 寸 法	縦 17.0 m 横 4.0 m 深 5.0 m	
能 力	処理能力 195m ³ /日 650人槽	
配 置	別添周辺見取図のとおり (平面図)	
設 置 年 月 日	平成 年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成24年 6月 1日	年 月 日
工事完成予定年月日	平成25年 5月31日	年 月 日
使用開始予定年月日	平成25年 6月 1日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

記載例 《浄化槽》

別紙 2

特定施設の使用の方法

一つの特設施設に一つの番号を付し、施設の使用方法を記す。全く同じ施設を2基以上所有している場合は、備考欄などに基数をしるし、一つの番号で処理してもよい。一度使用した番号は、二回以上使用してはならない。

工場又は事業場における施設番号		1			
特定施設号番号及び名称		72 し尿処理施設			
設置場所		別添周辺見取図のとおり			
操業の系統		別添フローシートのとおり			
使用時間間隔		連続			
1日当たりの使用時間		24時間			
使用の季節的変動		なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		なし			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.5	8.0		
	BOD mg/l	180	200		
	SS mg/l	230	250		
	大腸菌 個/cm ³	3,000 以上	3,000 以上		
	窒素 mg/l	140	150		
	りん mg/l	18	20		
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		60	70		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記載例 《浄化槽》
汚水等の処理の方法

一つの排水処理施設に対して一つの番号を付し、構造図を添付する。全く同じ施設を2基以上所有している場合は、備考欄などに基数を記し、一つの番号で処理してもよい。一度使用した番号は、二回以上使用してはならない。

工場又は事業場における施設番号		1							
処理施設の設置場所		別添周辺見取図のとおり（平面図）							
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		平成24年 6月 1日				年 月 日			
工事完成予定年月日		平成25年 5月 31日				年 月 日			
使用開始予定年月日		平成25年 6月 1日				年 月 日			
種類及び型式		T O式 一式							
構造		鉄筋コンクリート造							
主要寸法		17×4×5 (m)							
能力		分流式 650人/日							
処理の方式		接触ばっき方式							
処理の系統		別紙6のとおり							
集水及び導水の方法		塩ビ管							
使用時間間隔		連続							
1日当たりの使用時間		24時間							
使用の季節変動		なし							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		消毒用塩素剤 kg/月							
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6.5	6.5	8.0	8.0				
	BOD mg/ℓ	180	30	200	35				
	SS mg/ℓ	230	50	250	60				
	大腸菌 個/c m ³	3,000 以上	3,000 以下	3,000 以上	3,000 以下				
	窒素 mg/ℓ	140	90	150	100				
	りん mg/ℓ	18	10	20	15				
量 (m ³ /日)	60	60	70	70					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥汲み取り搬出							
排出水の排出方法		〇〇川				下水道へ流入の場合は、「下水道接続」と記入			
その他参考となるべき事項		〇〇業者に委託							

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

排水口が複数存在する場合は、排水口ごとに番号を付す。

工場又は事業場における施設番号		1			
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.5	8.0		
	BOD mg/ℓ	30	35		
	SS mg/ℓ	50	60		
	大腸菌 個/c m ³	3,000 以下	3,000 以下		
	窒素 mg/ℓ	90	100		
	りん mg/ℓ	10	15		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		60	70		
その他参考となるべき事項		保守点検業者：〇〇〇 電話：*** - ****			

公共用水域へ排出される水を対象としているため、下水道へ排出する場合は、本項への記入不要。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記載例 <浄化槽>

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

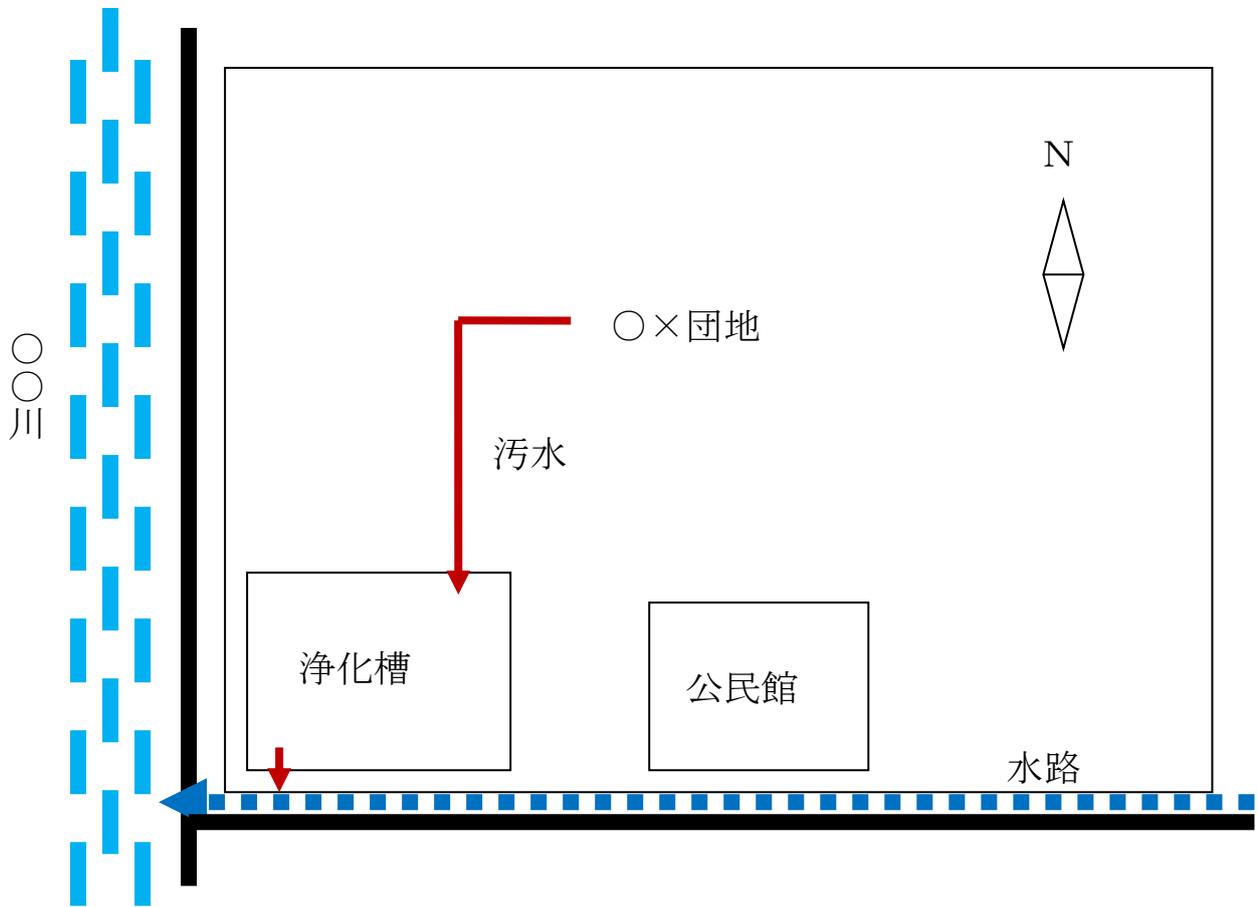
COD、窒素、リンの各項目ごとに1枚、計3枚作成

		指定項目の別		COD							
業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)	水量 (m ³ /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		※			
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
								Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	
特定排水	し尿処理施設	8	10	60	70			50	0.5	0.7	
合計											
種類及び用途	汚染状態 (mg/l)	水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)							
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
合計											
その他の参考事項											

公共用水域へ排出される水を対象としているため、下水道へ排出する場合は、本項すべて記入不要。

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

周辺見取図



記載例 <浄化槽>

フローシート (操作の系統)

